

## 堀川連携2006 第1グループ(まちづくり)第3回ワークショップ 事後メモ

日時：8/31(木)19-21時

出席：(時計回り)渡辺(東山ガーデン常務),兼松(名工大),稲葉(庄内川),丹坂(納屋橋 CUBES),松永(名工大),細谷(堀川LC),加藤(堀川LC・ゴンドラ守る会),神戸(武家の里),濁川(ゴンドラ守る会),石浦(ゴンドラ守る会),飯田(ポウ),カワカタ(ポウ),秀島(名工大)

資料：ウォーターマジックフェスティバルチラシ,ゴンドラと堀川水辺を守る会チラシ,同会員申込書,ゴンドラの記事,遊覧バス+堀川下りの記事,福岡の川下りの記事,堀川端散策マップ

回覧：都市再生フィールドノート大阪のひきだし,川づくりをまちづくりに,私たちの「いい川・いい川づくり」最前線,庄内川河川事務所堀川航空写真.

舟運観光の取り組み：

・石浦氏から：ゴンドラを守る会発足の経緯と現況について

2000年から堀川に関わり,2005年万博以降,キャッスルホテルから市へ,守る会の発足へ,7月に発足の集いを開く.8月にホームページを立ち上げた.市の所有物につき料金はとれないが管理費を会費として集めている.東山ガーデンの朝日橋棧橋に係留しているが納屋橋近くに独自の棧橋を持ちたい.

・丹坂氏から：ウォーターマジックフェスティバル水上バス社会実験について

堀川ポテンシャル発揮の最大化に向けてコンセプトチャートしてまとめ,そこから水上バスの試行へ.東山ガーデンの4隻を使い,参加を募集し,当日アンケートに回答してもらう.広報なごや8月号だけでなごや観光ルートバスと組み合わせたコースに420名が応募.レンタサイクルの方はまだ少ない.

観光ルートとしての見込みについて,コンベンションビューローを通じて観光会社の意見を求めることになっている.

・渡辺氏から：東山ガーデンの取り組みと今後について

15年前に社長が東京佃島の屋形船をみて港付近で遊覧船事業を始める.当時は許可・同意などに時間がかかった.汚くもあったが今では新堀川や木場にカニがいたり,納屋橋にフナムシがいる.「水上バス」を目指して取り組んでいる.

意見交換(ホームページ掲載の都合により一部省略します)

・全員自己紹介(省略)

・堀川再生は観光舟運以外にない.観光都市を目指す市政にも合致する.

・舟運だけでなく水辺・岸辺の整備も重要,という意見が目立った.

・稲葉氏から回覧図書をもとに,大阪の水上バスと水辺マップの取り組みが紹介された.

・水に身近に接するカヌーもよいのではないかという意見と,観光舟運を整えることが先という意見があった.

- ・(円頓寺付近で棧橋を造るなどは)行政への働きかけが重要。ただし見込みのある話を。
- ・堀川のファンをたくさん作るべき。
- ・土地開発者にとって、堀川沿いは、隣に建物が建たないからここに建てよう、というぐらゐの発想しかないのではないか。堀川が見える部屋、職場が価値を持つように。
- ・名古屋の人が楽しむことが先決。
- ・広く浅く関心を持ってもらうために堀川ポータルサイトを整えるべき。
- ・庄内川河川事務所で堀川の航空写真を揃えた。(回覧)google mapも活用可能。
- ・現在、干潮時は乗船を勧めていない。
- ・運航上は水位を保ってほしい。
- ・堀川に隣接する人が堀川によさに気づいていない可能性がある。調査してはどうか。
- ・沿岸の人々は自分では動かないかもしれないが、無関心ではないようである。
- ・映画、撮影会などのイベントに使ってもらうことも考えられる。
- ・ゴンドラ：こぎ手が不足している。10時間の練習を要する。学生が参加できないか。
- ・水辺不動産の事業化、そのために現状分析から始めてはどうか。
- ・ボローニャの大実験：市民、学生が参加するまちづくり 起業も考えられる。

#### 今後の展開

「堀川再生に向けて観光舟運が重要」という前提に立ち、改めてその周辺問題の解決のための沿岸整備なども重要と言える。舟運促進の動きはすでに関係者で進められているので、当面の課題として沿岸の企業、市民の意識を把握することと、不動産管理を実現すべきという結論に至った。